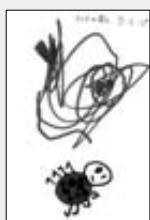




上方こももちゃん(堀内・5歳)

野田口礼茄ちゃん  
(旭日区・2歳)谷地真鈴さん  
(力持・6歳)

◎4月号の答え…①う（チヨウ）、く（サツカーボール）、け（バケツ）

◎応募総数…12通で12人の方が正解でした。抽選の結果、

◎当選者…①上方さくらさん（堀内・8歳）②仲村妃織さん（堀内・8歳）③米田昭子さん（白井・64歳）④齋藤嘉典翔君（宮古市・5歳）⑤野田口裕君（青森県八戸市・8歳）

次の5人に図書カードをお送りします。おめでとうござい

ん（京都府京都市・7歳）③  
米田昭子さん（白井・64歳）  
④齋藤嘉典翔君（宮古市・5歳）  
⑤野田口裕君（青森県八戸市・8歳）

## 悲願の鉄道

除されたのは普代、荒屋、生橋三線」と大見出しで報道したという。

こうしてわが普代までの鉄道建設は中止され、その後わが国は戦争に突入、敗戦となり、鉄道建設は夢と消えたのである。

昭和三年、鉄道省は昭和四年度以降の新線建設予算を発表した。この中に久慈—普代間を久慈線として昭和五年度着工、十二年度完成の計画であつた。計画通り進めばわが普代村民は昭和十二年には宿願の汽車の姿を見ることができたのである。

昭和十二年には普代に到達する予定だった久慈線は昭和四年、内閣交代による政変で削除され幻の予算に終わつた。朝日新聞社盛岡支局編集の「リアス号のベルが鳴る」によると昭和四年十一月二十九日付岩手版は「花釜鉄道の命危うく助かる。本県下で削

除されたのは普代、荒屋、生橋三線」と大見出しで報道したという。

三十七年には工事線に編入された。昭和四十年十一月、日本鉄道建設公團は久慈—普代間の路盤工事に着手、十年の歳月を要しついで待望の鉄道が完成、昭和五十年七月二十日、久慈線久慈—普代間の開業式が行われた。

普代村史には「ここに半世紀の悲願が実現し普代村の新

るにはあくまで国鉄経営を求めるか第三セクター方式か模索と混乱の時が流れた。

昭和五十六年、三陸縦貫鉄道は第三セクター「三陸鉄道

株式会社」として運営に当たることになった。出資団体は

岩手県と二十八関係市町村で

あり、代表取締役社長中村直

三陸沿岸住民の悲願だつた

三陸鉄道。しかしマイカーの

普及、人口減少、さらには観光客の減少などにより今、三

陸鉄道は苦しい経営を強いられています。これまでわたし

たちが多く恩恵を受けたこ

の悲願の鉄道に、今、感謝の意味を込め、まずは年に一回

今より多く乗車してみてはいかがでしょうか。

して誕生した。その後昭和六十二年まで十期四十年の長きにわたり村政を担当することになる。同氏著書「貧乏との戦い四十年」によると当選一期目に沿岸町村長が久慈に集まり三陸縦貫鉄道を通そうとの話がまとまつた。

普代村史によると昭和三十一年付岩手版は「花釜鉄道の命危うく助かる。本県下で削除されたのは普代、荒屋、生橋三線」と大見出しで報道したという。

これより先、普代—田老間に沿岸町村長が久慈に集まり三陸縦貫鉄道を通そうとの工事は着々と進められていましたが昭和五十五年末、赤字口

一カル線廃止転換のための國開通区間の起工式も行われ、田老会場では住民一人ひとりが「この鉄道を守り育てよう」との気持ちを込めて署名した。

普代村民による調査線に指定、六年久慈線は